



わかくさ抄

～シニア向けスマホ講座～

第3部会では従来からシニア向けパソコン教室を中心に担当してきたが、最近のスマホの利用が広がる中、3年ほど前から高田市市民交流センターの依頼を受けて、スマホ講座を1回/月のペースで年12回実施している。今回はその実施状況及びシニアの新たなスマホの活用状況を紹介したい。

近年スマホ決済などスマホ活用の場がどんどん広がっている。スマホは子供も含めて若い人は、何の抵抗感もなくだれでも使いこなしている。一方シニア世代は、ガラケーは使っているのにスマホに対しては抵抗感を持つ人が多い。使うのが難しそうとか、スマホにどういうメリットがあるか感じられずガラケーで十分と思っている人が多いのが実情である。われわれはこの2つの課題を解決すべく、又スマホを使い込んでどう活用すべきか考えながらカリキュラムに取り込んで実施している。

■スマホ教室の難しさ

一般にスマホ教室はパソコン教室に比べてあまり幅広く開催されていない。スマホはパソコンのように画一的に教えるのが難しいことも一因と考えられる。パソコンのOSはほぼWindowsと決まっており、WindowsやOfficeのバージョンが異なるくらいである。それに対してスマホのOSでは「iPhone」、「アンドロイド」、「かんたんスマホ」(らくらくスマートホン)の3種類ある。更にアンドロイドではキャリアやメーカーによって操作方法が異なる場合がある。

日本ではiPhoneが約半分位占めているが、我々が教えているシニア向けスマホ講座に限るとなぜかアンドロイドが多数を占め、

iPhone、かんたんスマホは各15%ほどである。従ってアンドロイド中心に教えることも考えられるが、我々はあえて全スマホを対象に実施している。

それはアプリに限るとOSに関係なく基本的に同じに操作になっているからである。またかんたんスマホのOSは基本的にアンドロイドなので共通して教えることができる。そこで、講座の内容はアプリ中心にして、機種に依存するところ、例えば写真、メール(含SMS)、OSの基本機能などの時はiPhoneとアンドロイド(含かんたんスマホ)に分けて実施している。とは言ってもアンドロイド系は機種・OSのバージョン等によって異なる場合が多々あり、サポートに手間がかかるのが実情である。そこでサポーターもパソコン教室に比べて人数を若干増やしている。又受講者もOS単位で4～5名のグループに分け、それにサポーターをつけて、受講者もお互いに教えあうことで対応している。

■新たなシニアのスマホ活用方法

通常のアプリは便利とか楽しいとなど個人で利用するものが大半である。しかしLINEやFacebookなどのSNSは他の人とのつながりを求めるもので、シニアに陥りがちな社会からの孤立を防ぐことができる。実際、高田市ではスマホ講座を卒業した人を対象にOB会を実施して、SNSなどを地域活動支援のツールとして活用しており、今後その効果が期待される。



第3部会長
藤村茂

今月のトピックス！

1. 奈良県より『第10回あしたのなら表彰』受賞

表彰式

日時:2019年12月14日 13:30～

会場:奈良公園バスターミナル

主催:奈良県

(荒井知事より授与)

(メダル)



2. 『ロボットで変わるあなたの世界』

ロボホンと、踊って、歌って楽しみ、元気になろう！

ロボホンは歌やダンスが得意。歌って踊って楽しく過ごすことができる。多彩なアプリで、子供から高齢者まで楽しみが広がる。



シニアロボホン体操 (三笠公民館)



「第1部会」からの報告 自治体情報化支援

1. 『ちょっとアドバイス』

e-AAC の自治体会員を定期的に巡回訪問して、それぞれ自治体が抱えている ICT に関する課題について、『ちょっとアドバイス』を行っている。

(1) 自治体会員:

天理市
葛城市
大和高田市
橿原市
下市町
奈良市(準)



橿原市の亀田市長 (中央)

(2) 令和元年度ちょっとアドバイス

・訪問回数:42 回

(3) 主なちょっとアドバイス

●行政システム

- ・自治体のオープンデータ公開は 3 分の 1
- ・神戸市とドコモが“牽引可能なヘルスケア Project”
- ・2020 年度の概算要求出そろ、デジタル国家
- ・地方自治体における業務プロセス・システムの標準化
- ・地方自治体におけるデジタル・ガバメントの推進について
- ・長寿社会へのトランスフォーメーション
- ・通信ネットワーク実力診断クイズ
- ・政令市/中核市/特別区の CIO フォーラムより
- ・5G 地代に向けたソリューション協創(ドコモ)
- ・ICTの強い街づくり(e-AAC)
- ・地方自治体における AI・RPA の実証実験・導入状況等調査
- ・2020 年度セキュリティ脅威予測。

●教育

- ・都道府県別 教育用コンピューター1台当たりの児童生徒数
- ・平成 30 年度学校における教育の情報化の実態調査結果
- ・公立学校情報化ランキング 2019
- ・ロボホンでプログラミング体験講座(パンフレット)

●コンピューター関連

- ・サポート終了まで半年を切った Windows 7
- ・ITSSスキルレベルの概念
- ・サポート切れの Win7 搭載 PC を処分、情報漏洩させない方法
- ・SSD 躍進で存在感失う HDD、完全に置き換わらない理由

●その他

- ・「顧客満足度調査 2019-2020」は下克上に
- ・IT・ネット・通信会社の業績給与とランキング 2019
- ・インターネット楽サロン(天理市)
- ・関連 IT 企業の年収
- ・ノーベル賞の陰で減少する日本の研究者
- ・知っておきたい技術の話
- ・開発言語別の技術者年収ランキング大公開

2. 明日香村プロジェクト

●令和元年地域情報化基盤整備業務

過疎地域の住民意向調査に基き、光ファイバー基盤整備の推進。上居・細川地区、続いて、上、尾曾地区の光回線敷設を完了した。

・工事業者:NTT 西日本



細川地区での光ケーブル敷設

残る過疎地域冬野、畑地区については、来年度以降の取組みとする。

●教育委員会: 子供向け講座(下市観光文化センター)

- ・7/7 プログラミング体験講座
- ・9/1 親子で学ぶロボットカーの製作とプログラミング

3. 下市町プロジェクト

●下市町基幹系システム端末更新に伴う設定作業の精査業務

期間 2019 年 6 月 1 日～8 月末

業社の見積の精査・値下げ交渉の結果、経費の削減を図る

●母子保健情報連携システム改修事業に関して、検討依頼

- ① ベンダーよりの見積もりの精査
- ② 設定作業内容の精査(妥当性)

●「システムの見える化」設定業務支援

- ①令和元年度:IT 資産管理の調査票の作成
各現課へのアンケート調査の実施
- ②令和2年度:資産管理表の作成、運用基準の作成

●教育委員会: 子供向け講座(下市観光文化センター)

- ・7/21 プログラミング体験講座
- ・8/18 親子で学ぶロボットカーの製作とプログラミング

4. 新たな地域コミュニティ「スマート街作り」の形成

長寿化の潮流の先頭を歩む日本は、世界に先駆けて新しい現実(長寿社会)を突きつけられている。人生 100 年、それに対して準備が出来ている人はほとんどいない。一方、テクノロジーは超高速で進化している。時代の潮流に乗って攻める以外に道はない。時代の変革を予測し乗り切る方法を考えていく。e-AAC は、子供から高齢者まで世代を超えて、地域が育む ICT 教育に取組み、ICT の強い街づくりを目指している。

- ◎ 地域が育む子ども ICT 教育
- ◎ 地域住民の ICT リテラシーの向上
- ◎ 活力ある長寿社会へのトランスフォーメーション

「第2部会」からの報告 学校教育情報化支援

令和元年度「学校支援」計画と実績

令和1年度	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
・小学校「クラブ活動」支援	1	3	1		1	2	3		2	3		16
・小学校「低学年授業」支援					2	1	1					4
・ネット・リテラシー2019 講座		2	5	2	1		2		1	1		14
・パソコン構造と機能を学ぶ教室		1				1						2
・「子どもパソコン」制作教室				1	1					1		3
・プログラミング「Scratch」教室		1	2	2	1	2						8
・ロボホンで「プログラミンク」教室								2	2			4
・ロボホンシニア教室									1			1
月計	1	7	8	5	6	6	6	2	6	5		52
奈良市、生駒市、高槻市	佐保台小 西大寺北小 奈良大付属高校 大宮まつり 三笠公民館 俵口小 高槻市社会福祉協議会											
天理市、桜井市 橿原市、明日香村、下市町 山添村、宇陀市 北葛城、川西町、王寺町	柳本小、王寺工業高校、山添中 明日香村中央公民館、下市観光文化センター 王寺小、大淀高校、樺本公民館、式上公民館											

1. 奈良県青少年社会活動推進課委託事業 ×10 回

1	6/13	生駒俵口小	6	8/31	奈良大付属高校
2	7/8	大宇陀高校	7	11/9	王寺小学校
3	7/17	川西町川西小5年	8	11/28	明治小学校
4	7/17	川西町川西小6年	9	1/16	都南中学校
5	7/19	山添中学校	10	2/27	三郷小学校

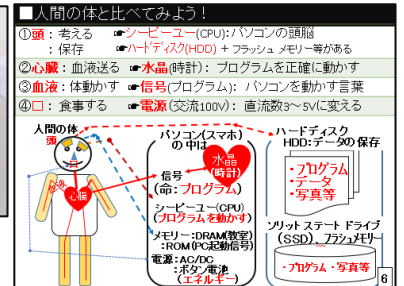


2. 草の根サイバーセキュリティ全国運動基金×3回

1	6/5	王寺工業高校	3	8/23	柳本小学校
2	7/27	大宮まつり			

3. 電子自治体アドバイザークラブ「インターネット・リテラシー講演」×1回

1	9/24	高槻市社会福祉協議会:インターネット・リテラシー2019
---	------	------------------------------



4. 奈良県協働組合支援事業 ×19 回

1	5/20	柳本小 PCクラブ	11	11/16	佐保台小 PCクラブ
2	6/5	佐保台小 PCクラブ	12	11/11	柳本小 PCクラブ
3	6/16	西大寺北小 PCクラブ	13	11/20	西大寺北小科学クラブ
4	6/24	柳本小 PCクラブ	14	11/20	西大寺北小 PCクラブ
5	7/3	佐保台小 PCクラブ	15	2/1/15	佐保台小 PCクラブ
6	9/3	西大寺北小 PCクラブ	16	2/1/27	柳本小 PCクラブ
7	9/11	西大寺北小 PCクラブ	17	2/2/3	柳本小 PCクラブ
8	9/18	西大寺北小 PCクラブ	18	2/2/6	佐保台小 PCクラブ
9	10/2	佐保台小 PCクラブ	19	2/2/12	西大寺北小 PCクラブ
10	10/28	柳本小 PCクラブ			



5. 子ども夢基金事業1次:13回

パソコン分解,機能 ×2回	6/9 朝和公民館	10/16 三笠公民館		
プログラミング scratch ×8回	6/30 平城公民館 9/28 樺本公民館	7/7 明日香公民館 10/2 三笠公民館	7/2 下市観光(セ) 10/9 三笠公民館	8/3 式上公民館 8/25 樺本公民館
ロボカー子どもPC ×3回	8/18 下市観	9/1 日香村	2/18 三笠(公)	

6. 子ども夢基金事業2次:「ロボホンプログラミング」×4回

12/7 三笠公民館	12/14 三笠公民館	1/12 平城公民館	1/26 平城公民館
------------	-------------	------------	------------

7. シニアロボホン教室×1回

20/1/18	三笠公民館
---------	-------



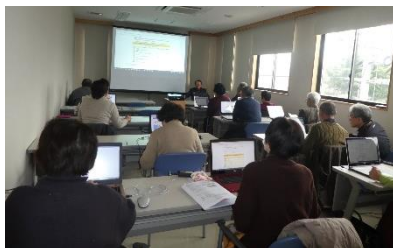
「第3部会」からの報告 パソコン研修

パソコン教室では、受託事業と自主事業の二本立てで推進中です。受託事業では耳成公民館で10年続いたパソコン教室は終了となり来年度はスマホ教室になります。また本年度から高田シマホ講座の修了者を対象に、スマホを使って地域活性化を目指すOB会を実施しています。なお、本年度はコロナウイルスの影響を受けて各教室とも3月は中止となりました。

■ 受託 パソコン教室

1. 耳成地区公民館パソコン教室

10年間続いたパソコン教室は、例年定員の20名を超える申し込みがありますが、本年度下期で終了となりました。最終日には館長から受講者全員に修了証書が手渡されました(8回コース)。



来年度からスマホ教室となります。

午後には何でも相談を実施しており、来年度も引き続き実施の予定です。

2. 天理市パソコン教室

本年度で8年目を迎えますが、下期も20名を超える受講者を対象に、天理市の市役所で初級コースを実施しました(6回コース)。



■ スマホ講座

本年度で3年目の実施となります。高田市市民交流センターで5月からほぼ1回/月のペースで計10回シニア対象のスマホ講座を実施しました。



スマホの基本的な操作方法に加えLINE・Facebookも学習し、地域活動のツールとしても使えることを目指しています。

なお、コロナウイルスの影響で3月の2回が中止となりました(当初全12回、最終回に行う予定の恒例の街歩きも中止)。

■ スマホ講座 OB会

スマホ講座のOB(1期生と2期生)を対象にスマホを使った地域活性化活動を支援しています。本年度はLINE等を使ったグループ活動に加え、高田市・畿央大学と協力して、



高田市のさざんかホールにおける「仮称小さな拠点まちなかライブラリー」の立ち上げを支援しました。実施に当たり、定例会6回に加え、畿央大学との分科会にも参加しました(6回)

■ e-AAC パソコン教室(自主事業)

受講者の募集が厳しい大宮教室、学園前教室では奈良市教育委員会の後援により、広報誌に申し込み案内を掲載した結果、受講生を集めることができました。

高田教室、天理中級教室は受講者が固定化する傾向にあり、カリキュラムの内容も新しい内容を付加工夫を凝らしています。

1. 大宮教室: e-AAC 大宮事務所(土曜日)

- 土曜パソコン教室:第1, 3土曜日実施(下期12回コース)。上期初心者コースに引き続き下期は中級者向けコースを実施。
- 「何でも相談」:月曜日～金曜日

2. 学園前教室: 西部公民館

- パソコン教室(隔週木曜日午後):上期のパソコン基礎に引き続き、下期は年賀状・インターネット・メールコース、及びデジカメ写真コースで合計9回実施。
- パソコン趣味の会(不定期、e-AAC事務所にて実施)



3. 高田教室: (1,3水曜日)。

- コロナウイルスの影響で3月は中止。
- 午前:パソコン教室 産業会館にて実施(中級者向け、下期12回コースの予定が10回に変更) 下期は新たにGMAILやカレンダーの作成などもカリキュラムに組み込みました。
 - 午後:何でも相談(場所を変え中央公民館で実施)



4. 天理中級教室: 天理市市民会館

- 上期に引き続き下期は10月～11月、天理市パソコン教室の受講者を中心に中級講座(6回コース)を実施。下期は新たにSkypeやパワーポイントによるスライドショーの作成などの内容もカリキュラムに組み込みました。



■ 令和2年度上期の計画

	内容	回数	実施時期
受託事業	奈良市水道局 MOS対策PC研修★	5コース×2日	6～7月
	耳成スマホ教室	8回(午前)	4月～8月
	天理市初級教室	6回(午前)	6月
	スマホ講座	5回(午後1回/月)	5月～9月
	スマホOB講座	3回(午後1回/2カ月)	4月～8月
自主事業	大宮教室	12回(午前)	3月～8月
	学園前教室	5回(午後)	5月～7月
	高田中級教室	12回(午前)	4月～9月
	天理中級教室	6回(午後)	6月～7月

★本年度はじめて実施のコース

「事務局」からの報告

令和2年 e-AAC 新年会

- 📅 日時: 令和2年1月19日
- 📍 会場: 奈良県文化会館 第3会議室、参加者: 30名

■講演会 テーマ: 5G時代に向けたソリューション協創
 講師: (株)ドコモ CS 関西 中里倫崇氏

概要: ドコモが目指す世界、5Gでより豊かな未来へ、社会・産業の発展に貢献、5Gの概要、5Gが目指す世界、5Gで実現出来ること、5Gの活用イメージ



■懇親会

御手洗顧問のご挨拶



令和元年『e-AAC 十大ニュース』

新年会参加者全員が、投票して集計の結果下記のように決定した

■テーマの部

- 1位 第10回あしたのなら大賞の受賞(令和元年12/14)
- 2位 親子で学ぶロボット教室の充実
- 3位 パソコン教室(大宮教室、耳成教室)(10年継続)
- 4位 ・地域活動に密着したスマホ講座の充実(高田教室)
・明日香村過疎地域における光ケーブル敷設事業
- 6位 ・大宮事務所の開設(2010年～)、10年継続
・下市町特別プロジェクト「基幹系システム機器設定業務及び経費」の精査で大きな成果
- 9位 授業支援(西大寺北小、佐保台小、柳本小)、9年継続
- 10位 自治体会員「ちょっとアドバイス」(2006年～)15年継続

■個人の部

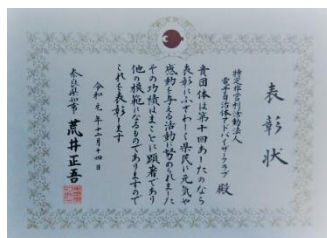
- | | |
|----------|----------|
| 1位 谷川 義明 | 4位 前川 治治 |
| 2位 奥田 恵啓 | 5位 中西 久夫 |
| 3位 吉岡 正實 | |

奈良県より『第10回あしたのなら表彰』受賞

受賞理由: e-AACは、子どもから高齢者までICTの恩恵が公平に受けられるよう、子ども向けICTものづくり体験教室や、市民向けに情報リテラシー向上のための講座や、パソコン・スマホ教室などを開き、地域の活性化に貢献している

表彰式

日時: 2019年12月14日 13:30～
 会場: 奈良公園バスターミナル
 主催: 奈良県



☆編集後記(ご挨拶)☆

今年に入って新型コロナウイルスの感染が広がり、3/12になってWHOはパンデミックの状態であると表明した。奈良県でも8名の感染者が出て要注意の状況にある。e-AACの3月の活動は自粛を余儀なくされた。自主事業(パソコンやプログラミング教室)は3回中止・延期とした。対外活動は2回中止になった。

早く感染が終息して、通常の活動ができる状態になってほしいものである。
 (e-AAC 編集部)

e-AAC 会員募集

会員皆様からのご紹介・勧誘をお待ちしています。特に、企業・団体・機関の会員を増やしていきたいと思っております。事務局までご連絡ください。

- 📍 正会員・個人会員・賛助会員
- ・自治体会員

Tel/Fax: 0742-36-8520
 e-mail: e-acc@kcn.jp

協賛団体



発行
 特定非営利活動法人
 電子自治体アドバイザークラブ(e-AAC)

編集
 e-AAC 編集部
 (ご連絡先) e-mail: e-acc@kcn.jp
 ホームページ: http://eaac.sakura.ne.jp/

【特記事項】

親子で学ぶロボットカーの製作とプログラミング講座

ロボットカーを組立て、「Scratch」の BASIC 言語でプログラムを組み、自分の思い通りにロボットカーを動かすことができる。



あるお母さんからのメール

2019年8月18日に実施した子供向け「ロボットカーの製作とプログラミング」講座に参加したあるお母さんからメールをいただいた。感情の起伏が激しいお子さんをお持ちのお母さんから、親子で参加した講座の感想をメールで送ってきた。そのやりとりは下記のとおり。

1. August 19, 2019 6:53 PM あるお母さんから e-AAC へメール

From: お母さん

To: e-AAC

昨日はありがとうございました🍀

自分でやりたい!!□が言葉や態度に出てしまい スミマセンでした m(_)_m

とても、親子でいい経験になりました😊□

優しく ご指導、ご配慮がとても嬉しかったです🌟

お世話かけました m(_)_m

2. August 22, 2019 10:55 AM、 e-AAC からお母さんへ返信

From: e-AAC

To: お母さん

メールを拝受しました。

ありがとうございます。大変良かったですね。

お子さんが、自分で成し遂げようという意欲が強く感じられました。

うまくいかないことも多々あるのですが、うまくはまったら、

ものすごい力を発揮するのではないかと思います。

試行錯誤を繰り返しながら、成長していくものと思いますので、

温かい目で見守りたいですね。

今後も、こういう機会に、ぜひ参加してください。

3. August 22, 2019 10:56 AM、 お母さんから再度メールを受け取る。

From: お母さん

To: "e-AAC"

あたたかい お言葉ありがとうございます🍀

ご迷惑をかけてしまうこともありますが ぜひ また、

参加させていただきたいと思っています。よろしくお願いたします m(_)_m

所感

なかなか感情の起伏が激しい子供でした。なんとかサポートしながらロボットカーを製作したが動かない。なかなかいうことを聞かなくてすべて自分でやろうとするがうまくいかない。いらいらして、まわりに当たり散らす。なんとか落ち着かせながら、最後までいくことができた。強い意欲を持っていたので、はまると強い力を発揮するかもしれない。鋭い感性を持ち、突出した才能を持っていることが多く、こういう子供を落ち着いた環境で育てると伸びるかも知れない。そういう環境を整備して、優秀な人材を育てたい。

